ライブラリ室だより

~ 文献リストの話 ~

今回のライブラリ室だよりは，LaTeX[1]などを用いて論文を作成する際に必要となる文献リストのサンプルをいくつか紹介します．雑誌の文献リストには通常特定の書式があり，投稿する場合にはその書式に従う必要があります．しかし，(この広報のように) 文献リストの形式が特に定められていない場合，どのように文献リストを記述すべきか悩む人もいるのではと思います．

文献リストの「見やすさ」は，読む人の「慣れ」や文書整形ソフトウェアの性能によってずいぶんと変わるため，どれが「正しい」とは一概にいえません．もちろん，形式がその論文の中で一貫していることがいちばん大切です．例 1 から例 6 までは雑誌[2]と単行本の記述例です．投稿規定などを参考に，「たぶんこう書くんだな」と思い LaTeX で記述しました．書式は 1998 年現在のものを参考にしています．

•例 1: Journal of the ACM

ACM(the Association for Computing Machinery; `http://www.acm.org/`) の代表的な雑誌 “Journal of the ACM” の文献書式では次のようになります:

> Von Neumann, J., and Goldstine, H. H. 1947. Numerical inverting of matrices of high order. *Bull. Amer. Math. Soc. 53*, 1021–1099.
>
> Wilkinson, J. H. 1965. *The Algebraic Eigenvalue Problem.* Oxford University Press, New Jersey.

著者名はスモールキャップ体 (LaTeX の`/sc`) です．ファミリーネーム (姓) が先に来ます．ファミリーネーム以外はイニシャルとカンマで省略されています．著者が複数の場合 and でつなぎます． and の前にカンマがつきます．この雑誌の書式では発行年が著者名の次にきます．雑誌名と書物名はイタリック体 (LaTeX の`/it`) です．雑誌名は決められた略記法[3]で書きます．論文のタイトルは最初が大文字の他は固有名詞を除き小文字です．雑誌・単行本名は最初の単語が冠詞・前置詞など以外は大文字になります．

•例 2: SIAM Journal on Applied Mathematics

SIAM(Society for Industrial and Applied Mathematics; `http://www.siam.org/`) の発行する雑誌のひとつ “SIAM Journal on Applied Mathematics” の文献書式で先ほどのリストを書き直してみます．

> J. Von Neumann and H.H. Goldstine, *Numerical inverting of matrices of high order*, Bull. Amer. Math. Soc., 53 (1947), pp. 1021–1099.
>
> J.H. Wilkinson, *The Algebraic Eigenvalue Problem*, Oxford University Press, New Jersey, 1965.

著者名はファミリーネーム以外を省略しファミリーネームの前に記述しています．また “H. H.” ではなくて “H.H.” とくっつけています． and の前のカンマはありません．また区切はピリオドではなくカンマです[4]．論文のタイトルがイタリックになります．発行年は雑誌の場合巻数の後にカッコ付きで，単行本の場合最後にカッコなしで書きます．ページ番号 “pp.” がつきます．

[1]センターで公開している LaTeX の利用方法はセンターニュース No.565 を参照してください．

[2]例は “Bulletin”(報告・広報) ですので，定期刊行の雑誌としての “Journal” とはいえないかもしれません．書式は同じです．なお，特定の分野に偏っていることをお許しください．

[3]ほとんどの学術雑誌は世界科学技術情報システム (UNISIST) が推進する国際逐次刊行物データシステム (ISDS) に略記法を登録しています．従って (素直に考えれば) 自分勝手に略記することはできません． ISDS の日本での管理は国立国会図書館です．

[4]海外の雑誌に TeX のソースで投稿する場合，日本語の全角を使ってはいけません．妙な空白が入る上にもちろん海外では文字化けします．

•例 3: Journal of Computational and Applied Mathematics

応用数学の分野の雑誌の書式を Elsevier Science 社 (`http://www.elsevier.co.jp/`) の発行する雑誌 "Journal of Computational and Applied Mathematics" からもう一つ紹介します．

J. von Neumann and H.H. Goldstine, Numerical inverting of matrices of high order, *Bull. Amer. Math. Soc.* **53** (1947) 1021–1099.

J.H. Wilkinson, *The Algebraic Eigenvalue Problem* (Oxford University Press, New Jersey 1965).

例 2 ににやや似ています．ただし著者名がスモールキャップ体でありません．雑誌の巻数が太文字体 (LaTeX の`\bf`) になり，雑誌のカッコつきの発行年のあとのカンマがありません．また pp. もありません．単行本は出版データがカッコつきになります．

•例 4: MLA スタイル

論文のスタイルとして広く使われているものに MLA(Modern Language Assosiation of America) があります．(いくつかの選択肢がありますが)MLA スタイルに準拠すると次のような文献リストになります:

von Neumann, John, and Herman Heine Goldstine. "Numerical Inverting of Matrices of High Order." *Bulletin of American Mathematical Society* 53 (1947). 1021–1099.

Wilkinson, James Hardy. *The Algebraic Eigenvalue Problem.* New Jersey: Oxford University Press, 1965.

著者名は省略しないで書きました．論文のタイトルが " " で囲まれて，最初の単語が原則大文字になっています[5]．

以下，国内の論文誌から 2 つ紹介します．違いを見つけてください．だんだん週刊誌の「間違い探し」をしている気分になるのではないでしょうか？

•例 5: 情報処理学会論文誌

von Neumann, J. and Goldstine, H. H.: Numerical inverting of matrices of high order, Bull. Amer. Math. Soc., Vol.53, pp.1021–1099 (1947).

Wilkinson, J. H.: The Algebraic Eigenvalue Problem, Oxford University Press, New Jersey (1965).

•例 6: 電子情報通信学会論文誌

J. Von Neumann and H. H. Goldstine, "Numerical inverting of matrices of high order," Bull. Amer. Math. Soc., vol.53, pp.1021–1099, 1947.

J. H. Wilkinson, "The Algebraic Eigenvalue Problem," Oxford University Press, New Jersey, 1965.

参考文献には雑誌・単行本以外にも編集した書物・会議録・アンソロジーなどがあり，これらの書式も残念ながら 6 つの書式ともバラバラです．また，筆者が 3 人以上の場合の書き方にも注意が必要です．

個人的には，文献入手の手助けのためにはできるだけ多くの情報を入れた方が親切かなと思い，最近の広報記事の文献リストでは著者名や雑誌名は省略せずに書くようにしています．

[5]ただし " " に囲まれないからといって最初だけ大文字であとは小文字で記述する方法が「正しい」とはいえません．例えば応用数理学会の論文誌では " " で囲まないにもかかわらず単語の最初を大文字にします．